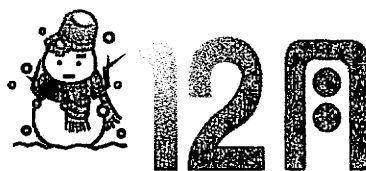


処理を考える(34)



読み方は分かっている書き方を問題にしている時の処理

これまで漢字の処理といえば大部分は同音異義語が中心でした。この場合は、他にも同音異義語があって文章が正確に伝わらない時に処理しますが、処理の方法としては、必要と思われる語句がでてきた時に、まず、語句を読みその後には音声訳者が、

- ①その漢字の訓読みや
- ②その漢字を含む熟語
- ③編や旁
- ④言葉の意味

などで補足をします。この場合の処理のポイントは「漢字の書き方や漢字そのものをわからせることではなくて、どのことばかを特定させること」にありました。仮に漢字を特定できても、補足しようとする熟語と結びつかなければ意味がないからです。

(中には漢字をわからせることが目的になっているような方もみられますが)

さて、同音異義語の処理では漢字をわからせることではないと強調しましたが、中には漢字を特定させながら読まなくてはならない時もあります。どのようなケースかというと、「読み方は文章でふれていてどんな漢字かを問題にしているケース」です。

例えば、

／「時雨」と書いて「しぐれ」と読みます。／「五月雨」と書いて「さみだれ」と読みます。／「生憎」と書いて「あいにく」と読みますが・・・／・・・「きんとん」は「金団」と書かれ、・・・／

といったような文章の時です。このような文章を読む場合は、

処理A.

トキ、アメと書いてしぐれと読みます。／ゴガツアメと書いて・・・／ウマレルニクイと書いてアイニクと読みますが・・・／・・・キントンはキンギンノキンニ、ダンゴノダンと書かれ・・・

と読むのが自然で文章もスムーズに理解できます。しかし、この文章をこれまでの同音異義語の処理にあわせて、

処理B

シグレ、トキ、アメと書いてシグレと読みます。／サミダレ、ゴガツアメと書いてサミダレと読みます。／アイニク、ウマレルニ、ニクイと書いてアイニクと読みますが・・・／キントンはキントン、キンギンノキンにダンゴノダンと書かれ・・・といった読み方をする人も多いようです。しかし、これでは不自然な文章になります。同音異義語の処理では仮に補足なしに読んでも文章としては成り立ちます。しかし、処理Bのやり方で、補足がないと「シグレットカイトシグレットヨミマス」という文章になります。これでは意味の通らない日本語になります。書き方を問題にしているわけですから、処理Aのように「どんな字かを特定させながら読む」のが本来の読み方といえます。「読み」を入れることは余分な作業ということになります。

さらに、処理Bのような読み方をする理由の一つに、「原文にそう書いてあるように聞こえるのでは」といった意見があります。これは、

例文1「きんとん」は「金団」と書きます。

例文2「きんとん」は金銀の金に団子の団と書きます。

といった文章で、「原文が1か2の区別がつかないから」といったことになるでしょう。一理あるように思えますが、墨字の世界では、例文1の内容を、わざわざ例文2のように表記することはあり得ません。音声訳の世界だけ、これを区別する為にわざわざ処理Bのよう不自然な読み方をする必要はないでしょう。

*さて、今回の文章を音声訳する場合は、例文1と例文2の文章はちゃんと区別して読む必要がありますが、あなたはどの読み方をしますか？

1月は『ろくおん通信』はお休みです。

先月の例文の処理例

練習問題1

原文 「単漢複合語」というのは私の造語である。「陥る」のように「落ちる」と「入る」の複合語ながら、「落ち入る」でなく「陥る」と漢字一字で表記するような語を、仮にそう呼ぶのである。

「おちいる」は、“くぼんだ所にはまり落ちる。”の意だが、現代では「穴に陥る」など具体的な動作より、「ジレンマに陥る」など“よくない状態になる。”といった比喩的な用法が普通。意味の変遷を「落ち入る」でなく「陥る」と書くことで対応しているのだ。

処理例 ……陥る、カンボツノカンニ、オクリガナル、のように、落ちる、ラッカスルと、イル、ハイル、の複合語ながら、オチルノオチニ、イル、ではなく、カンボツノカンニ、オクリガナルと漢字一字で表記 ……意味の変遷を、オチルノオチニ、イルではなく、カンボツノカンニ、ル と書くことで ……

原文 「ちりばめる」という語は、少数を除き、ほとんどの辞書は「鏝める」だけで、「散りばめる」は採っていない。「このエッセーには、ところどころきらっとした言葉がちりばめられている」などと比喩的にも用いられるが、元来は“彫って金銀や宝玉などをあちこちに散らしてはめ込む。”という意味。意味から考えると「散りばめる」でも構わなそうだが、表記習慣上あまりそうは書かないということか。「鏝」は表外字なので新聞の表記は「ちりばめる」と仮名書き。

処理例 ……ほとんどの辞書は、カネヘンの「鏝める」だけで、散らすの「散りばめる」は採っていない。 ……意味から考えると、散らすの「散りばめる」でも構わなそうだが ……カネヘンの鏝めるは表外字なので新聞の表記は「ちりばめる」と仮名書き。

以下原文省略

処理例

「うずたかい」は、堆積、堆肥ノタイニ、オクリガナ、イ と書かれる。タカイはタカイヒクイノ、“高い。”に違いあるまいが、「ウズ、タカイヒクイノタカイ」とはあまり書かれない。ウズにはメズラシイノチン、ウズメルノマイなど諸説あるが、“盛り上がる。”の意味を持つ古語「うつもる」のウツにタカシがついた語形か、という説に説得力を感じる。平安時代まではウツタカシと清音だった。新聞では仮名書き。

処理例 「なげうつ」は、ナゲ、ナゲル+ウツで、『国語大辞典』『大辞泉』など辞書によっては、ナゲルトウツノナゲウツ、オンガテイノナゲウツ、オンガヨウノナゲウツと、ナゲルトウツノナゲウツの表記を掲載するものもあるが、ナゲルトウツノ「投げ打つ」では野球でもやっているみたいな感じがしないでもない。「全財産をなげうって事業に打ち込む」のように“惜し気もなく投げ出す。”という意味にナゲルトウツノ「投げ打つ」を用いるのは違和感が強い。新聞の用字は「なげうつ」と仮名書き。

処理例 「スクウ、トリノスニオクリガナクウ」は、『大辞林』が初版で「スニ、タベルノ、クウ」の表記を採っていたが、第二版で「スニ、オフクリガナ、クウ」に改められた。“鳥が口に物をくわえて巣を作るところから。”という『倭訓栞』の語源説を可とすれば、「スニタベルノクウ」の表記も誤りとは言えない。ただ、「くわえる」は「カンジ、ダベルニ、ワエル」とは書かない。「くわえる」と「食う」との語間距離はそのくらい隔たっている。新聞の表記は辞書の多数派通り「スニオクリガナクウ」。

処理例 「よみがえる」は、「黄泉」+「かえる」である。「黄泉」とは死者の魂の赴く所で、「よみがえる」はその黄泉から帰ること。“生き返る、衰えていたものが生氣を取り戻す。”という意。漢字では「ソセイヌルソ、ニオクリガナル、ソセイトオナジイミノコウセイノコウニ、オクリガナルと書く。原義を考えれば、「ヨミガエル、カエルハキタクノキ、や「ヨミガエル、カエル、ヘンジノヘン」でもよさそうなものだが、ほとんどの辞書はそうした表記を採っていない。新聞の表記はスベテカナデ「よみがえる」。

練習問題2

ラムプ

処理例 女、昆布、音楽…。仮名ならばオンナ、コンブ、オンガクで、はねる音はみな「ン」と書く。けれども、「オンナノン、コンブノン、オンガクノン」と、それぞれは違う音だ。d, nなどの前ではオンナノンとなり、p, b, mの前ではコンブノンとなり、k, gなどの前ではオンガクノンとなる。石川啄木の歌に「真白なるラムプの笠の瑕のごと流離の記憶消しがたきかな」というのがある。“ラムプ”は発音に近い表記だが、今はこうは書かない。

練習問題3

処理例 「卵」を「ギョクニコドモノコ」と書くのは正しいか
「ギョクニコ」は当て字で、漢語では「ぎょくし」と読み、玉でつくった墓石（いし）の意

味はあっても「たまご」の意味はありません。

しかし、わが国では「ラン」の文字から受けるなまなましさをきらったのか、昔からよく「ギョクニコ」と書き表されてきました。特に料理関係では「玉子酒」「玉子豆腐」「玉子どんぶり」のように「ギョクニコ」と書くのが一般的です。

これに対して生物学的な意味で使われる場合は「ラン」と書き、「ギョクニコ」は使われません。「金のたまご」「医者^{しや}のたまご」のように比喩的に使われる場合も「ラン」と書き表すのがふつうです。

☆☆☆☆☆ 今月の練習問題 ☆☆☆☆☆

今回は点訳ボランティアの勉強会で使った資料の一部を借用させて頂きました。音声訳ではどんな処理になるのかと興味も持たれています。

例文1

きょうは、こんなきぶんだぜ。

○★……●=？◎？☆！

どんなイミかというと、

(かぜひいて、あそびにいけなくて、つままない) ってイミなんだ。

例文2

今までいろいろな人に話を聞いたところを総合して、こんなものを作ってみました。
1996年度版見合いにおける力関係図です。

医者（地方では金融関係も含む）

∨

ハゲでない

∨

学歴と会社名（特に会社のネームバリュー）

∨

年収

∨

その他いろいろ

例文3

ところが、これを飲んだ人の症例に、めだって多毛が認められたわけです。
で、これ、外用に使っても毛が生えたんですね。50%のアルコールに5%の割合で溶かして塗ったりすると、すごく効く。アップジョン社のデータですが。1年間、7

000人くらいについて実験した結果、ある程度の改善が見られる人を含めると、「84%くらい有効」というすごい数字がでています。

さあ、ここまで読んで、今「♥」という気持ちの人もきっといるでしょう。が、私が最近覚えた言葉ですが、「敵を知り、己を知れば百戦あやうからず」と孫子も言っています。冷静に、「なぜ、血圧降下剤で毛が生えるか」と考えてみましょうね。

例文4 (ルビの部分が先生の添削されたところですよ。どう音訳しますか)

日曜日の朝早く目がさめたら、パパ^{とうさん}がつなぎ^{作業着}を着て、玄関^まのところ^間にすわって、ぐん手をはめているところでした。ぼくは、日曜なのにパパが早起^{していたので、ふしぎに}するなんて、へんだと
思いました。

ぼくはパパ^{とうさん}に、
「パパ、どっかへいくの。」

と言いました。

「うん、たらの芽をつみに行くんだけど、ぼくもいっしょに行くか。」
とパパ^{とうさん}が言ったので、ぼくはほんとわ^は朝ごはんを食べてから行きたかったけど^{のだけれど}、
「いく、いく。」

と言ってとびおきました。

意味のない言葉は書かないようにしましょう。

ぼくがキーンと言ってパパ^{とうさん}のところ^ろへ行くと、パパ^{とうさん}はぐん手をぼくにぶ^{投げました}つけた。

「ちゃんとはめてろよ。」

と言うので、

「どしてさ。」

と言うと、※注 神奈川県を始めとする関東六県の方言はさげましょう。けなげなさを出すためには方言風のもので十分です。

「ばっかだなあ、たらの芽にはとげがあるからじゃん。」

と、パパが言いました。ぼく^(はぶきましよう)がまたキーンをしていると、妹が起きてきて、

(意味のない言葉はやめましょう。「兄ちゃん、どこ行くん。」などに直すといい。)

「クピピピッ」

と言いました。そ^{その時}したらママ^{かあさん}がネグリジェで、頭^(はぶきましよう)にカーラーをまいたまま出てきて

校正表から

語句	誤	正	語句	誤	正
危急存亡の秋	キキウソンボウノアキ	キキウソンボウノトキ	容体	ヨウタイ	ヨウダイ
乱行	ランコウ	ランキョウ	一蹴	イツケツ	イツシュウ
骨片	コツハン	コツペン	残虐	ザンコク	ザンギョク

二通りの読みがあって意味が異なるもの (6/0)

心	ココ ウラ 表に対する裏。外面に現れない内部の意	家庭	カチ 家族が生活する所 ヤウ 人家のある所屑。
公達	キダチ 諸王、または王家の一族 コウツ 政府からの通知。達し。	御所	ゴショ 天皇の在所。居所 ゴセ 地名。奈良県西部。

※ ★ ☆ △ ◇ ◆ ※ ★ ☆ △ ◇ ◆



カセットテープで録音する場合、ギリギリまで録音するとどうしてよくないのですか？



カセットテープは同じC-90でも、概ね、片面に録音できる時間は47分前後あります。この録音時間はメーカーによって多少違ってきます。また、リーダーテープの長さもメーカーによって違いがあります。録音図書の場合、カセットにコピーすることを前提にしています。コピー機の回転もわずかに違ってきますので、最後まで録音されるとテープによっては入りきらないこともあります。こうしたミスを防ぐために、録音時間は短めにしています。録音時間が出ない機種でも一応カウントなどで目安を覚えておくとよいでしょう。

利用者から製作依頼を受けている原本

- 『バルザック全集 第4巻』 新庄嘉章他訳 <文学>
- 『現代のエスプリ ゲシュタルト療法』 倉戸ヨシヤ編 <精神分析>
- 『フランス史 上』 アンドレ・モロワ著 平岡昇訳<歴史>
- 『フランス史 下』 アンドレ・モロワ著 平岡昇訳<歴史>
- 『部落起源論』石尾芳久著 <社会科学>
- 『社会福祉の歴史』高島進 著 <社会福祉>
- 『三本の矢 上』榊東行著 <小説>
- 『三本の矢 下』榊東行著 <小説>
- 『民法(6) 契約各論』第4版 遠藤浩他編 <法律>
- 『おなら大全』ロミ&ジャン・フェクサス著 <民族学>
- 『魂の幼児教育』 としくらえみ著 <教育>

以上のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。初めてのグループの方は何か5分でも結構ですから録音したものをご持参下さい。録音についてのチェックと共に、必要があれば録音技術のアドバイスをさせていただきます。

今回引き受けて頂いた 原本とグループ

『ネットワーク・ビジネス2×2=6』
『煌めく川 歌集』 牧田綾子著 <詩歌>

ICCBリクエストグループ
テープライブラリーにしのみや

近畿視情協録音製作委員会主催

第4回 録音図書製作グループ音訳研究会のご案内

日時 : 1999年2月17日(水)
午後 1時半~3時半

場所 : 盲人情報文化センター9階ホール
テーマ : 処理の研究

*ご案内は各図書館に年内に発送する予定です。資料は当日配布。
参加申し込みは所属の図書館を通してお願いします。